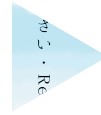


# 防災減災特別講演



2021.8.21(土)  
J:COM ホルトホール大分  
〒870-0839 大分市金池町南1丁目5番1号

防災減災特別講演

## 「災害と環境変化」

14:20~15:00

市民ホール 大ホール

参加対象：「令和3年度 建築士の集い 大分大会」の参加者



近年、全国規模で激甚化・頻発化する自然災害。直近5年間に平成28年熊本(大分)地震、平成29年7月九州北部豪雨、同年9月台風第18号、平成30年中津市耶馬溪金吉で発生した山崩れ、そして令和2年7月豪雨と人的被害を伴う甚大な災害が大分県で相次いで発生した。一方で、南海トラフ巨大地震や火山災害など想定を超えるような災害が目の前に迫っており、災害多発時代の現状を我々は受け入れざるを得ない。結果、その時代の中で、災害と共存する社会環境を構築し、減災社会に向けた構造の変化に適応しなければならない。

そこで本講演では大分県で発生した近年の災害を読み解きながら「災害と環境変化」をテーマに、災害多発時代における減災社会を会場の皆様と一緒に考えたい。



講師

大分大学  
減災・復興デザイン教育研究センター  
次長・准教授 鶴成 悦久

鹿児島大学大学院連合農学研究科修了。博士(学術)。専門は海岸環境工学・空間情報工学・災害情報学。15年間、主に土木教員として鹿児島県の測量専門学校で多くの測量・土木技術者を養成。その傍ら、NPO法人かごしまGIS・GPS技術研究所事務局長として、空間情報の活用推進や災害情報・地域分析等で産学官連携の中核として活動。鹿児島大学では、東日本大震災の調査や復興支援等の災害研究に従事。平成29年4月に大分大学産学官連携推進機構准教授として着任。平成30年10月1日より減災・復興デザイン教育研究センター次長就任。杵築市山香町在住。

ご連絡は  
九州の各県建築士会へ

福岡県建築士会 佐賀県建築士会  
熊本県建築士会 宮崎県建築士会  
長崎県建築士会 大分県建築士会  
鹿児島県建築士会 沖縄県建築士会

[新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今大会への九州外からの参加はご遠慮ください。](#)